

よりよいユーザー体験(UX)を提供するモノ・コトづくり実践

1. 背景 Background

近年、モノを作る側ではなく、使う人の要求に応えるモノづくりをするアプローチが必要とされています。そこで、人を優先したモノ・コトづくりを推進する人間中心設計(HCD=Human Centered Design)が注目されています。

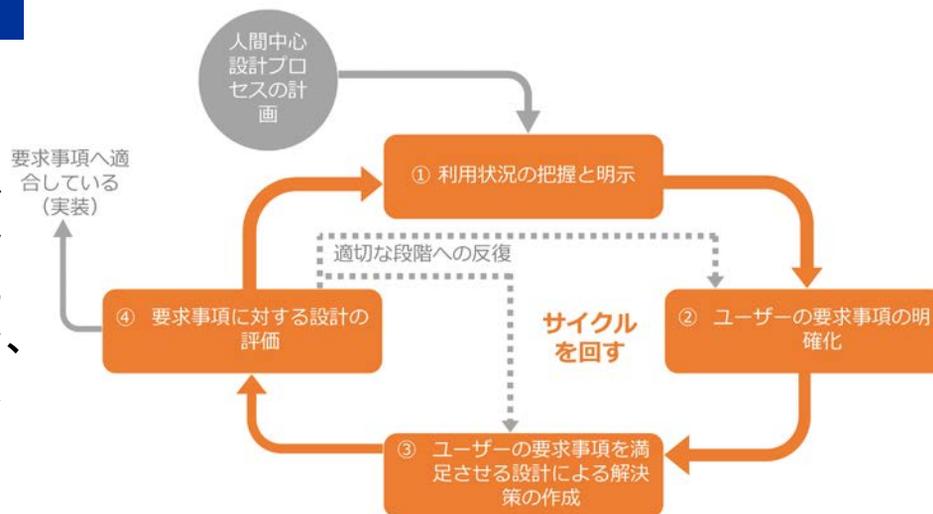
2. 利点 Advantage

HCDが目指すのは、ユーザエクスペリエンス(UX)と使いやすさ、ユーザー価値の向上です。製品開発側が提示した使い方に人間が合わせるという従来の考え方を離れ、使う人の観点でストレスなく使いやすいデザインを追及します。また、ユーザーの利便性を高めて満足度を高めるだけでなく、プロダクトが使いやすくなることでサポートコストが軽減されるなど、企業側にとってもメリットがあります。

3. 技術 Solution

現場でのHCD導入実践

まず、ユーザーの利用状況を徹底的に把握します。そして、国際規格ISO13407を基にした「HCDサイクル」(右図)を、ユーザーの要求や欲求が満たされるまで繰り返し続けます。



4. 用途 Application

HCDは、「苦い経験」を減らし「うれしい経験」をもたらすための取り組みで、製品やシステム、企画、サービスデザインなど広い分野に適用できます。